

解答

一

問一 自由ムード

問二 ウ

問三 イ

問四 自分と我が子も外国で苦労した経験があるので、自分たちと同じ苦労をしている人たちの力になりたかったから。

問五 自分は平気だと強がっているものの、つらい思いをしていることも理解してほしいという気持ち。

問六 さっぱりとした表情。（「晴れ晴れとした・すっきりとした」なども可）

問七 雷

問八 i…i ii…心情を理解する（「気持ち」も可）

問九 外から傷ついて帰ってきててもそのつらさを素直に表現できない淳に対して、父親は、干渉しすぎることなく、さり気なく遊びを通して淳の気持ちを軽くしているから。

問十 a 対象 b 感受 c 察 d 包

二

問一 a 目下 b 策 c 半減 d むら

問二 積もった雪で辺り一面が真っ白な様子。

問三 エ

問四 つもりに積

問五 見捨てず

問六 「研究」とあるので科学の知識が生かされているように思えるが、実際は、非科学的なものであるところ。

問七 イ

解説

一

問四 ——線部④の「そうか」は直前のミセス・ラットクリフの言葉を受けています。筆者は、ミセス・ラットクリフが、自分が経験した苦労を生かして、同じ苦労をしている人たちの役に立ちたいのだろうと考えたのです。

問五 淳が、いいことや楽しいことを話す気持ちと、いやなことをまげてしゃべる気持ちの二つを説明します。いいことや楽しいことを話すのは、家族を安心させたい、心配させたくない、強がっている、などといったことが考えられます。いやなことをまげてしゃべるのは、つらいことのすべてを隠し通せるほど大人ではない、泣きつきたい・甘えたい気持ちがあるなどという、まだ子供である部分が残っているのです。

問九 ……線部の前後に着目します。思春期手前で、つらい気持ちを素直に口にできず、親があれこれと関わることもいやがる頃です。父親は、そんな淳の状況を理解して、直接解決しようとするのではなく、遊びを通して遠回しに淳の気持ちをいやしているのです。

二

問六 ——線部②より、自分たちの生活や生命を脅かす火山について、真剣に対策を練ろうという姿勢が伝わってきます。「研究」というと、科学的で、あらゆる知識やお金を必要とするようなイメージがありますが、結果は、人間でない火山を相手にテーマソングを作成したり、カニやエビの話で盛り上がったりしています。この「研究」という言葉からは想像もつかないような内容であるところを「おかしみ」ととらえましょう。

問八 撒き散らした銀色の灰によって、町は観光地として栄えているものの、人々は常に、噴火による破壊や死の恐怖にさらされていることから考えます。